



2016.05.24

小松工区矢板打ちが終わり、犬走りが元通りになった。



2016.05.24

5月16日の出水が原因か判明しないがカゴマット崩壊



2016.05.17

出水の度に被害を受けていた日野地区護岸は無事だった



2016.05.17

出水の度に同じことを繰り返す百間樋付近の高水敷



2016.05.17

5月16日の出水で砂州が広がった様な感じがする。



2016.05.21

甲武橋水標で流量調査が行われていた。

	水 位		降り始めからの累積雨量			この程度の増水でも百間樋は写真のようになるが取水路土砂堆積は免れた。増水の度に被害が拡大していた日野地区も被害無し。芝張り法面のコンクリート制水道が功を奏し被害を免れた。復旧工事に一手間掛ける効果は大きいことを実感する。水量管理点の甲武橋で流量調査が実施されていた。
	甲武橋	道場	有野	三田	母子	
2016/5/16 16:00	0.71	0.35	3	1	2	
23:00	1.59	2.07	76	48	66	
24:00:00	1.51	1.95	78	49	67	
2016/5/17 1:00	1.5	1.85	80	51	67	



4号堰を泳いで登るアユをコサギが捕食していた。

サギの口から大きくはみ出したアユ。



昨年末から出水もなく川底をカワシオグサが覆っていた。

5月16日の出水でこんなにきれいになった川底



出水前の砂州、出水位調査目的にペットボトルを置いた。

5月16日出水、水位上昇でペットボトルが流された。

5月下旬になってもアユの遡上は続いていた。シーズン初期から比べると魚体は大きくなり、飛び跳ねることもなくなり、堰の斜面を泳いで登っていく。コサギが目ざとく斜面を登るアユを追いかける。斜面の足下は滑りやすそうではサギといえどもアユを取り逃がし羽をばたつかせているのが面白かった。

武庫川全域に言えることではあるが、透視度は比較的高いのに川底に糸状の藻(カワシオグサ)繁茂して薄汚れて見える。水量の減る夏場になると、河床の石の表面に張り付いた藻が腐り臭気を発するようになり、乾燥したら灰色になり汚れが目立つ。しかし適度な増水が藻を洗い流して武庫川らしい風景を取り戻す。写真は第4堰下流の様子で、目印に置いたペットボトルが流れた痕跡から約1m位の増水で増水前後の様子から増水の清掃効果が感じ取れた。